

2022年3月期 第1四半期決算概要

2021年8月2日

千代田化工建設株式会社



I 決算概要

II 成長戦略トピックス

III 主要遂行中案件

I 決算概要

1 ハイライト

1.

業績

1. 完成工事高、完成工事総利益、営業利益、経常利益は通期予想に対してほぼ順調に進捗。
2. イクシスLNGの係争に関連して特別損失を計上、通期業績予想を見直し

2.

受注

7月15日にインドネシア銅製錬プロジェクトを受注、第2四半期に受注計上予定

2 特別損失の計上について

- ① 本件は、2012年に契約、完工済みで、顧客が2018年10月から生産開始しているイクシスLNGプロジェクトに関わるもの。
- ② 顧客とは業務範囲の増減に伴う契約金額の調整等で係争が続いてきた。
- ③ 顧客との協議の進展を踏まえ、係争対象取引のリスクを再評価、今回の特別損失を計上。
- ④ 遂行中プロジェクトへの影響はない。
- ⑤ 取引リスクの評価に伴う損失(評価性費用)であり、キャッシュアウトは生じない。
- ⑥ 負の遺産を取り除き、遂行中案件や新規事業にリソースをかけ、再生計画必達に邁進する。

3 損益計算書

(単位:億円)

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	2022年3月期 通期予想 【7月30日修正】	進捗率
完成工事高	655	805	149	3,000	27%
完成工事総利益	83	62	△21	260	24%
完成工事総利益率	12.6%	7.7%	△4.9pt	8.7%	△1.0pt
販売費・一般管理費	△30	△27	3	△150	18%
営業利益	53	35	△18	110	32%
経常利益	48	35	△13	90	39%
純利益* ¹	45	△172	△217	△140	-
為替レート(円/米ドル)	108	111		111	

*¹ 親会社株主に帰属する当期純利益

4 バランスシート

(単位:億円)

	2021年 3月末	2021年 6月末	増減		2021年 3月末	2021年 6月末	増減
流動資産	3,059	2,921	△138	流動負債	2,447	2,544	97
現金・預金等	1,070	781	△289	営業負債*3	1,900	1,786	△114
営業資産*1	573	544	△29	工事損失引当金	344	361	16
未収入金	773	769	△4	固定負債	482	482	0
JV持分資産*2	568	734	166	長期借入金	450	450	0
固定資産	237	233	△4	純資産	367	128	△240注
総資産	3,296	3,154	△142	負債・純資産	3,296	3,154	△142
				自己資本	364	124	△240
				自己資本比率	11.0%	3.9%	△7.1pt

注)純資産△240億円は、特別損失計上△204億円及び優先株式配当△37億円による。

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金＋契約資産

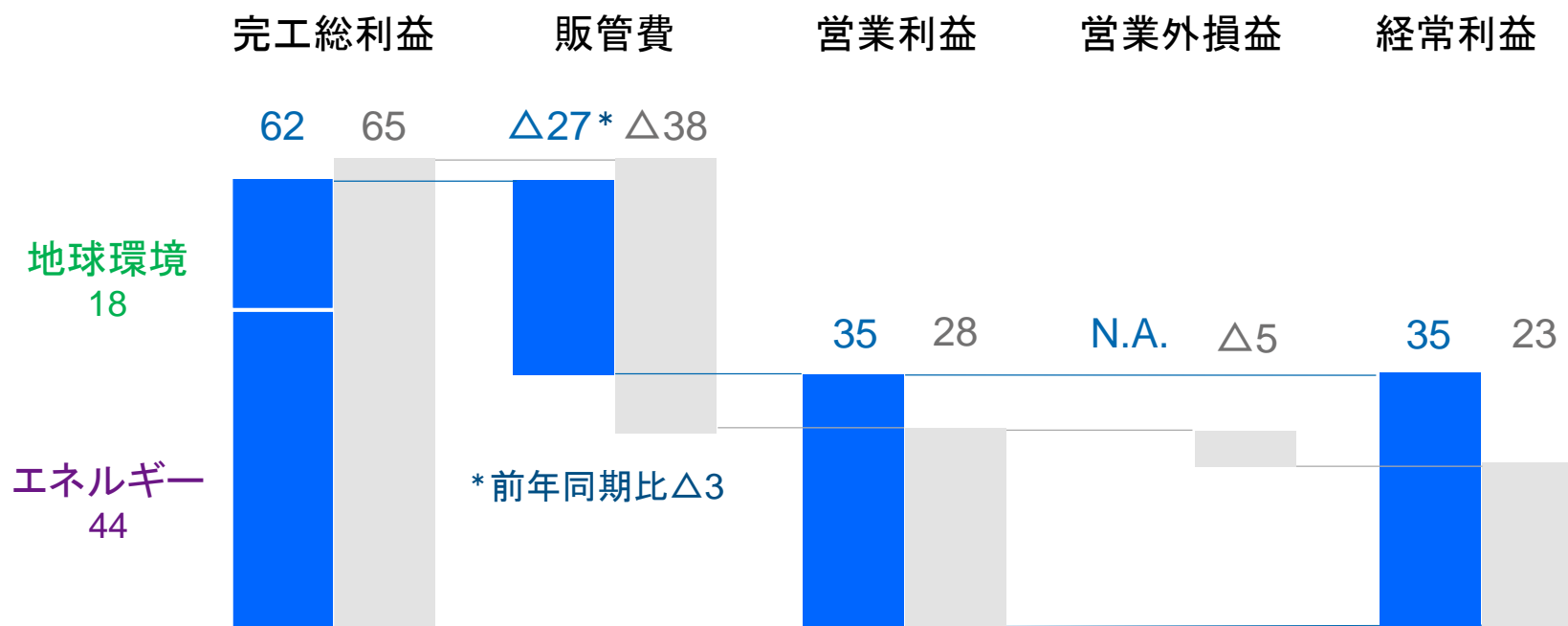
*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債(未成工事受入金)

5 利益増減分析

(単位: 億円)

- 第1四半期実績
- 通期業績予想の25%



6

受注高・受注残高

(単位:億円)

	受注高* ¹	受注残高* ²
エネルギー分野	158	9,781
地球環境分野	56	949
合計	214	10,730

注) 本年7月に受注したインドネシア銅製錬プロジェクトは第2四半期に受注計上予定

受注残高主要案件	1,000億円以上	100億円以上
エネルギー分野	カタールLNG ゴールデンパスLNG	テキサスエチレン タンゲーLNG
地球環境分野		ワクチン原薬製造設備 蓄電池システム バイオマス発電

*1 受注高:2022年3月期第1四半期

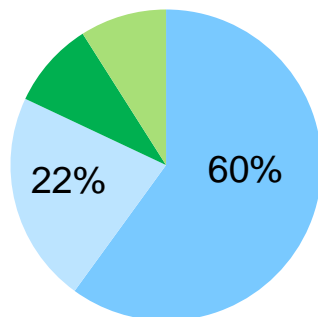
*2 受注残高:2021年6月末

完成工事高内訳

(単位:億円)

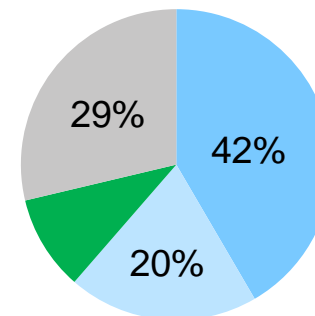
【2022年3月期第1四半期】

分野別



エネルギー	662
■ LNG・その他ガス	486
■ 石油・石油化学・金属	176
地球環境	143
■ 環境・新エネ・インフラ・他	69
■ 医薬・生化学・一般化学	74
合計	805

地域別

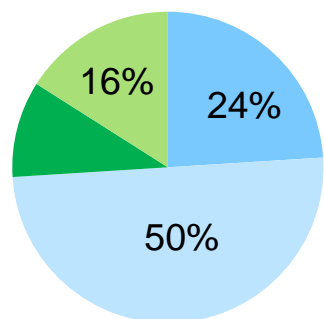


海外	573
■ 中近東・アフリカ	336
■ 北中南米	159
■ アジア・オセアニア	78
■ その他海外	0
■ 国内	231
合計	805

(単位:億円)

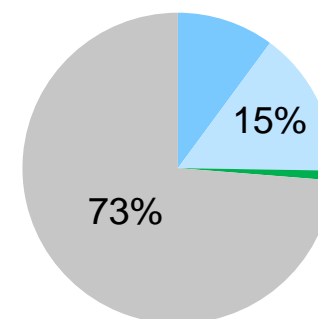
【2022年3月期第1四半期】

分野別



エネルギー	158
■ LNG・その他ガス	52
■ 石油・石油化学・金属	106
地球環境	56
■ 環境・新エネ・インフラ・他	22
■ 医薬・生化学・一般化学	34
合計	214

地域別



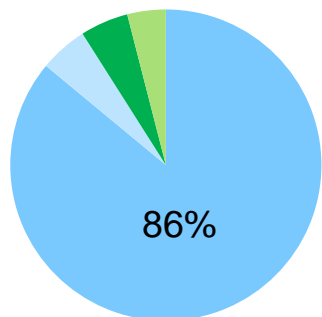
海外	57
■ 中近東・アフリカ	22
■ 北中南米	33
■ アジア・オセアニア	2
■ その他海外	0
■ 国内	156
合計	214

受注残高内訳

(単位:億円)

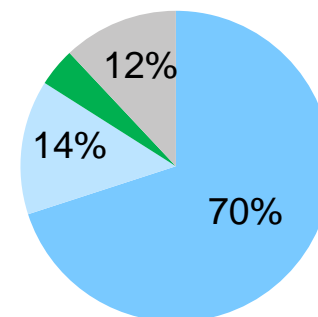
【2021年6月末】

分野別



エネルギー	9,781
■ LNG・その他ガス	9,246
■ 石油・石油化学・金属	535
地球環境	949
■ 環境・新エネ・インフラ・他	556
■ 医薬・生化学・一般化学	393
合計	10,730

地域別



海外	9,462
■ 中近東・アフリカ	7,502
■ 北中南米	1,501
■ アジア・オセアニア	459
■ その他海外	0
■ 国内	1,268
合計	10,730

Ⅱ 成長戦略トピックス

水素サプライチェーン・ソリューション事業の水平展開 ～産業横断的な地域水素導入プロジェクトへの参画～

中部圏水素利用協議会

2030年に年間30万トンの水素を利用する大規模な水素供給システムの確立を目指す

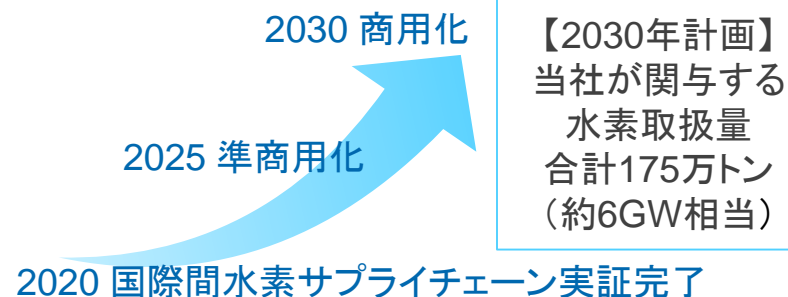
シンガポール

当社技術の安全性が高く評価され、三菱商事(株)殿、シンガポール企業5社と持続可能な水素経済実現に向けた事業化の検討を推進中

オランダ

欧州地区の水素輸入のハブになることを目指す欧州最大港のロッテルダム港湾公社、地元貯蔵・輸送会社、三菱商事と技術、商務面の検討の覚書を締結

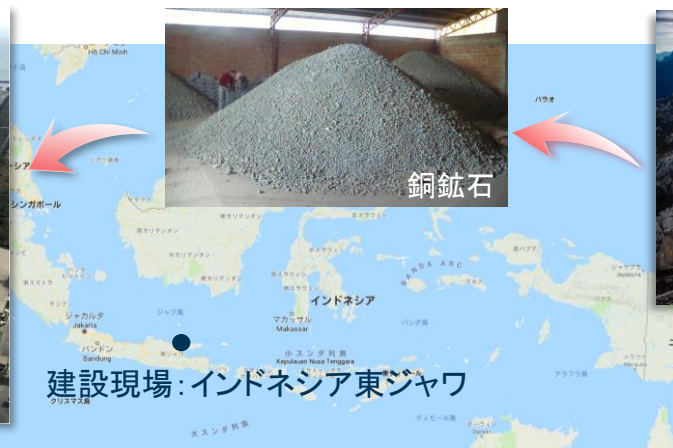
水素社会実現に向けたロードマップ



【受注】PT Freeport Indonesia向けインドネシア銅製錬所建設

【意義】

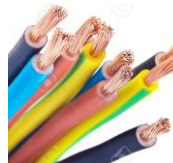
- 銅は脱炭素社会の主要素材、EVや蓄電池など予想される銅の需要拡大に対応
- 単一ラインとして世界最大級の生産能力を持つ銅製錬プラント
- International Finance Corporationの環境規定に準拠



銅は脱炭素の潮流を受けて増大する電気需要を支えるベースメタル



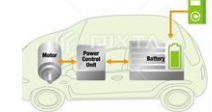
銅製品



EV(電気自動車)では銅の使用量が増大



Mechanism of EV



蓄電の価値向上の取り組み

- 北海道北部風力送電(株)殿が進める「風力発電のための送電網整備実証事業」向け世界最大級の蓄電池システム(当社が建設中)の実証業務を受注
- 蓄電池容量の低減、広域停電時における電源としての活用可能性、系統電力の供給力低下時における系統安定化等を実証



蓄電池システム
(容量720MWh)
建設現場
(2020年10月撮影)

エネルギー運用最適化事業
(Energy as a Service 事業*)

- ベルギーQpinch社と未利用排熱の有効活用を可能とするケミカルヒートポンプ技術の日本国内展開に関する協業覚書を締結
- 産業設備の更なる省エネルギー化とCO₂排出量削減を実現する事業を推進



導入されたQpinch設備
(所在:ベルギー、アントワープ)
写真: ©2021 Borealis.

* ユーティリティに関する複数のサービスをワンストップで提供し、コスト削減、アセット価値向上、CO₂排出量削減を総合的にサポートすることで、既設設備の活用を最適化する事業

ワクチン原薬製造設備 製造ラインの増設工事を遂行中

- 塩野義製薬(株)殿向け遺伝子組み換えタンパク質による新型コロナウイルス向けワクチンの原薬製造プラント
- 本年3月に原薬製造1ラインを完工、更に1ラインの増設、付帯設備のEPC業務を遂行中



ワクチン原薬製造設備イメージ図

受託開発製造事業 JV設立検討の基本契約を締結

- シオノギファーマ(株)殿との協業
- 医薬品原薬・中間体の連続生産技術を核とする受託開発製造事業の合弁会社設立検討に向けた基本契約を本年5月に締結
- 当社が石油化学分野で培った連続生産プロセスの知見を活用
- 開発期間短縮、AI予兆制御による品質維持、商用生産における省人化・省スペース化等の効率化を目指す

5

デジタルトランスフォーメーション

産業設備・プラント向けデジタルプラットフォームソリューション事業

- Cognite社、三菱商事と同事業の提供、協業を目的とする覚書を締結。
- 国内製油所向けに実証実験を開始。
- 当該ソリューションの提供を国内外の産業設備・プラントに拡大していく予定。

Mirai Fusion

各種データを大規模・高精度・
短時間で統合・紐づけ管理できる
ソフトウェアを活用した
一気通貫のDXサービス



EFEXIS®ソリューション

プラント運転・保全・保守・保安の
最適化・自律化に貢献する革新的
デジタルAIアプリケーション

顧客のプラント操業のDX(デジタル変革)を支援

DX全体構想
データのデジタル化

データ利活用環境
の構築・整備

デジタルソリューション
業務プロセスの变革

Ⅲ 主要遂行中案件

1 主要遂行中案件

海外案件

案件	テキサスエチレン	タングーLNG	ゴールデンパスLNG
顧客	Gulf Coast Growth Ventures (ExxonMobilとSABICのJV)	BP Berau Ltd.	Golden Pass Products (ExxonMobilとQatar PetroleumのJV)
パートナー	Kiewit Energy Group Inc.	Saipem, Tripatra	Zachry, McDermott
納期	2021年4Q	2022年	2025年
遂行状況	<ul style="list-style-type: none">モジュールは全て現場に到着、据え付け完了現場工事を遂行中	<ul style="list-style-type: none">建設工事を遂行中	<ul style="list-style-type: none">設計・調達業務並びに現場工事を遂行中

国内案件

案件	カタールLNG	ワクチン原薬製造設備	蓄電池システム
顧客	Qatar Petroleum	塩野義製薬(株)殿	北海道北部風力送電(株)殿
パートナー	Technip Energies	なし	なし
納期	2027年	2022年	2023年1Q
遂行状況	<ul style="list-style-type: none">設計・調達・工事計画業務を開始	<ul style="list-style-type: none">本年3月に原薬製造1ラインを完工、更に1ラインの増設、付帯設備のEPC業務を遂行中	<ul style="list-style-type: none">建設工事を遂行中

永続的な発展と社会から
一層信頼される企業を目指して



Energy and Environment in Harmony

千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・CSR セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。